

## 平成26年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年2月7日

上場会社名 株式会社アサカ理研 上場取引所 東  
 コード番号 5724 URL http://www.asaka.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野納 敏展  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 鈴木 忍 TEL 024-944-4744  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年9月期第1四半期の連結業績（平成25年10月1日～平成25年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第1四半期	2,056	△14.5	△53	—	△56	—	△25	—
25年9月期第1四半期	2,403	△40.7	78	△44.2	82	28.7	51	32.4

(注) 包括利益 26年9月期第1四半期 △24百万円 (—%) 25年9月期第1四半期 52百万円 (61.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第1四半期	△10.34	—
25年9月期第1四半期	20.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年9月期第1四半期	5,336	2,138	39.8	853.83
25年9月期	5,132	2,198	42.6	878.58

(参考) 自己資本 26年9月期第1四半期 2,123百万円 25年9月期 2,185百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	0.00	—	15.00	15.00
26年9月期	—	—	—	—	—
26年9月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成26年9月期の連結業績予想（平成25年10月1日～平成26年9月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,207	△12.0	△225	—	△236	—	△173	—	△69.77
通期	9,766	3.3	△114	—	△136	—	132	13.4	53.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年9月期1Q	2,572,300株	25年9月期	2,572,300株
26年9月期1Q	84,731株	25年9月期	84,731株
26年9月期1Q	2,487,569株	25年9月期1Q	2,487,603株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー報告書を受領しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、政府ならびに日銀の経済・金融政策により、一段の円高是正と株価上昇が進み、景況感はややゆるやかな回復を示しました。

一方、当社グループの経営成績に影響の大きい、電子部品・デバイス工業分野においては、スマートフォンやタブレット端末の普及、車載電子機器の増加等の流れによって、世界的な需要は拡大しつつあるものの、国内での生産活動は、総じて低調に推移しました。

また、主力製品である金の価格は、ドルベースでの価格下落を受け、軟調に推移しました。銅の価格は、前年同期を上回る水準で推移しました。

このような環境をふまえ、当社グループでは、貴金属事業・環境事業に次ぐ事業の柱を育てるべく、大規模な技術開発投資を実行しております。福島県いわき市に取得した用地に、レアメタル・レアアースに関する研究開発拠点を新設し、レアメタル・レアアースの新しい分離・精製技術の確立に向けた実証試験を行います。現在開発中の技術は、独立行政法人日本原子力研究開発機構が基礎技術を開発した新しい溶媒抽出技術で、従来の技術に比べて、格段に抽出効率が高いことが特徴です。この技術は、コンパクトかつシンプルな装置を使用し、低コストで迅速な回収ができるうえ、分離した元素を濃縮する性能も備えております。さらに、環境に優しい技術でもあります。当社は、同機構との共同研究によって、基礎技術にいくつかの新しいプロセスを加え、実用化を目指しています。今回、2件の大型の補助金（平成23年度「希少金属使用量削減・代替技術開発設備整備費等補助金（レアアース・レアメタル使用量削減・利用部品代替支援事業）」及び平成25年度「ふくしま産業復興企業立地補助金」）を活用し、優位に実証試験を実施することができます。今期中に実証試験を終え、早期の事業化を目指してまいります。当期間においては、建屋の建設を開始し、計画通りに工事が進みました。

同時に、貴金属の回収品目を拡大するための前処理技術の開発や、生産工程の合理化にも取り組みました。その他の新規事業テーマについても、技術開発や販売拡大に向けた活動を継続しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間においては、受託加工取引も含めた貴金属の総取扱数量は増加いたしました。しかし、貴金属価格の下落及び受託加工取引の割合増による販売数量減少の影響から、売上高は、2,056百万円（前年同四半期比14.5%減）となりました。営業損益は、貴金属相場下落等による売上総利益の減少、新市場開拓のための営業費用の増加等によって、53百万円の損失（前年同四半期は78百万円の利益）となりました。経常損益は、56百万円の損失（前年同四半期は82百万円の利益）となり、四半期純損益は、25百万円の損失（前年同四半期は51百万円の利益）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりです。なお、各セグメントの金額については、セグメント間取引を含んでおります。

#### (貴金属事業)

当事業の主要なお客様が属する電子部品・デバイス工業分野の生産は、前年同期と同程度の水準で低調に推移しましたが、取引先の開拓等によって、貴金属の総取扱数量は増加いたしました。一方、貴金属の販売価格は、前年同期の水準を下回りました。また、取引形態変更による受託加工取引の割合が増加したことによって、貴金属の販売数量は前年同期実績を下回りました。この結果、売上高は、1,852百万円（前年同四半期比15.9%減）となりました。セグメント利益は、貴金属価格の下落、製品構成の変化、合理化設備導入に伴う減価償却費増加による売上総利益の減少、及び新市場開拓のための営業費用の増加によって、78百万円（同61.3%減）となりました。

#### (環境事業)

当事業の主要なお客様が属する電子回路基板業界の生産は、減少が続いており、電子回路基板向けエッチング液及び銅ペレットの販売数量は、前年同期の実績を大きく下回りました。一方、銅ペレットの販売価格は、前年同期を上回る水準となり、新規事業である光触媒事業での販売も伸びたことから、売上高は193百万円（同0.2%増）となりました。セグメント利益は、新規事業の拡大やコスト削減等の効果によって、27百万円（同52.6%増）となりました。

#### (その他)

その他においては、システム受託開発事業の売上高が前年同期実績を上回る一方、運輸事業では、厳しい事業環境が続いております。この結果、その他の売上高は、43百万円（同5.6%減）となり、セグメント利益は、1百万円（前年同四半期は0百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は、以下のとおりであります。

(資産の部)

前連結会計年度末に比べて204百万円増加し、5,336百万円となりました。

主な要因は、現金及び預金が137百万円、たな卸資産が22百万円減少し、建設仮勘定が391百万円増加したことによるものです。

(負債の部)

前連結会計年度末に比べて264百万円増加し、3,198百万円となりました。

主な要因は、社債が30百万円減少し、短期借入金が140百万円、長期借入金が156百万円増加したことによるものです。

(純資産の部)

前連結会計年度末に比べて60百万円減少し、2,138百万円となりました。

主な要因は、利益剰余金が63百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しについては、平成25年11月8日の「平成25年9月期 決算短信」で発表いたしました連結業績予想のとおりであり、変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,275,464	1,138,449
受取手形及び売掛金	318,604	301,067
商品及び製品	486,530	403,258
仕掛品	431,936	490,496
原材料及び貯蔵品	15,882	18,328
繰延税金資産	54,315	79,810
その他	199,175	181,254
流動資産合計	2,781,910	2,612,666
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,235,780	1,248,999
減価償却累計額	△695,394	△707,871
建物及び構築物（純額）	540,385	541,128
機械装置及び運搬具	2,010,750	2,017,972
減価償却累計額	△1,675,252	△1,699,748
機械装置及び運搬具（純額）	335,497	318,223
土地	1,204,244	1,204,244
リース資産	71,234	71,234
減価償却累計額	△44,054	△47,171
リース資産（純額）	27,179	24,062
建設仮勘定	48,459	440,389
その他	171,477	173,284
減価償却累計額	△151,779	△153,680
その他（純額）	19,698	19,603
有形固定資産合計	2,175,466	2,547,652
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	66,814	69,039
繰延税金資産	4,675	3,273
その他	79,191	81,156
貸倒引当金	△22	△22
投資その他の資産合計	150,659	153,446
固定資産合計	2,350,122	2,724,095
資産合計	5,132,032	5,336,761

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	190,585	137,808
短期借入金	750,638	891,199
1年内償還予定の社債	260,000	260,000
リース債務	12,795	12,679
未払法人税等	67,304	1,214
その他	431,514	565,275
流動負債合計	1,712,837	1,868,177
固定負債		
社債	320,000	290,000
長期借入金	574,958	731,388
リース債務	15,610	12,393
繰延税金負債	—	1,506
退職給付引当金	32,640	26,301
長期未払金	229,460	220,467
資産除去債務	48,155	48,371
固定負債合計	1,220,824	1,330,429
負債合計	2,933,661	3,198,606
純資産の部		
株主資本		
資本金	504,295	504,295
資本剰余金	339,295	339,295
利益剰余金	1,367,574	1,304,528
自己株式	△46,444	△46,444
株主資本合計	2,164,720	2,101,675
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,805	22,283
その他の包括利益累計額合計	20,805	22,283
新株予約権	12,844	14,196
純資産合計	2,198,370	2,138,155
負債純資産合計	5,132,032	5,336,761

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)
売上高	2,403,562	2,056,235
売上原価	1,989,163	1,766,437
売上総利益	414,398	289,798
販売費及び一般管理費	335,801	343,678
営業利益又は営業損失(△)	78,597	△53,880
営業外収益		
受取利息	8	5
受取配当金	1,158	64
受取賃貸料	1,955	1,588
その他	8,368	4,650
営業外収益合計	11,491	6,309
営業外費用		
支払利息	4,793	6,128
その他	3,070	2,325
営業外費用合計	7,864	8,453
経常利益又は経常損失(△)	82,225	△56,024
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	82,225	△56,024
法人税、住民税及び事業税	7,499	340
法人税等調整額	23,544	△23,334
過年度法人税等戻入額	—	△7,298
法人税等合計	31,043	△30,292
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	51,181	△25,731
四半期純利益又は四半期純損失(△)	51,181	△25,731



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	51,181	△25,731
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,682	1,477
その他の包括利益合計	1,682	1,477
四半期包括利益	52,863	△24,254
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	52,863	△24,254

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成24年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	貴金属事業	環境事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,202,053	191,806	2,393,859	9,702	2,403,562
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,623	1,623	36,567	38,190
計	2,202,053	193,429	2,395,483	46,269	2,441,753
セグメント利益又は損失 (△)	203,860	18,303	222,163	△270	221,893

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム受託開発事業及び運輸事業であります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	222,163
「その他」の区分の損失(△)	△270
全社費用(注)	△139,668
四半期連結損益計算書の経常利益	82,225

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門の一般管理費であります。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成25年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	貴金属事業	環境事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,852,653	193,684	2,046,338	9,897	2,056,235
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	41	41	33,772	33,814
計	1,852,653	193,726	2,046,379	43,669	2,090,049
セグメント利益	78,806	27,931	106,738	1,906	108,644

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム受託開発事業及び運輸事業であります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	106,738
「その他」の区分の利益	1,906
全社費用(注)	△164,668
四半期連結損益計算書の経常損失	△56,024

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門の一般管理費であります。